

第66回日本公衆衛生学会総会（愛媛県・松山市）のまとめ

1 学会長・副学会長・顧問

名誉学会長 加戸 守行 愛媛県知事
 名誉顧問 中村 時広 松山市長
 学会長 小西 正光 愛媛大学大学院医学
 系研究科公衆衛生・健
 康医学教授
 副学会長 久野 梧郎 (社)愛媛県医師会長
 濱上 邦子 愛媛県保健福祉部長
 武智喜代徳 松山市保健福祉部長
 顧問 小松 正幸 愛媛大学長
 池谷 東彦 愛媛県立医療技術大学
 長

2 開催日

平成19年10月24日（水）～26日（金）

3 開催地

愛媛県松山市

4 会場

愛媛県民文化会館 本館・別館
 〒790-0843 愛媛県松山市道後町2丁目5番1号
 Tel：(089)923-5111
 愛媛看護研修センター
 〒790-0843 愛媛県松山市道後町2丁目11番地14
 Tel：(089)923-1287
 愛媛県総合社会福祉会館（自由集会のみ開催）
 〒790-8553 愛媛県松山市持田町3丁目8番15号
 Tel：(089)921-5070

5. 参加者数

有料入場者数 3,130人

No.	職 種 別	件 数	%	No.	都道府県別	人 数	%
1	医師（行政）	220	12.9	1	東京都	266	15.6
2	医師（教育・研究）	180	10.5	2	大阪府	158	9.3
3	医師（臨床）	43	2.5	3	愛媛県	107	6.3
4	歯科医師	48	2.8	4	愛知県	79	4.6
5	薬剤師	47	2.8	5	神奈川県	65	3.8
6	獣医師	13	0.8	6	福岡県	64	3.7
7	保健師	568	33.3	7	埼玉県	60	3.5
8	助産師	16	0.9	8	兵庫県	56	3.3
9	看護師・准看護師	62	3.6	9	岡山県	50	2.9
10	管理栄養士・栄養士	94	5.5	10	北海道	49	2.9
11	臨床検査技師・衛生検査技師	26	1.5	11	京都府	43	2.5
12	歯科衛生士・技工士	20	1.2	12	千葉県	41	2.4
13	健康教育系	87	5.1	13	茨城県	40	2.3
14	生物・物理・化学・工学系	28	1.6	14	広島県	31	1.8
15	事務系	27	1.6	15	熊本県	28	1.6
16	その他	211	12.4	16	その他	538	31.5
17	無回答	17	1.0	17	無回答	32	1.9
	小 計	1,707	100.0	小 計		1,707	100.0
	不 明	1,423		不 明		1,423	
	合 計	3,130		合 計		3,130	

6 総会・特別行事等

【第1日 平成19年10月24日(水)】

開会式 9:00~9:30
[愛媛県県民文化会館メインホール]

特別講演1 9:30~10:30
[愛媛県県民文化会館メインホール]

「四国は日本の脈どころ」

演者 早坂 暁(脚本家・作家)

座長 上田 昭(愛媛県今治保健所長)

学会長講演 10:50~11:50
[愛媛県県民文化会館メインホール]

「循環器疾患対策—地域住民とともに歩む疫学と予防—」

演者 小西 正光(愛媛大学大学院医学系研究科
公衆衛生・健康医学分野教授)

座長 畝 博(福岡大学医学部教授)

平成19年度総会 13:10~13:50
[愛媛県県民文化会館メインホール]

メインシンポジウム 14:00~16:30
[愛媛県県民文化会館メインホール]

「地域保健の未来展望」

座長 嶋本 喬(大阪府立健康科学センター名
誉所長)

座長 景浦しげ子(愛媛県保健福祉部健康衛生局
長)

①循環器疾患予防対策のさらなる発展を期待して
北村 明彦(大阪府立健康科学センター健
康開発部長)

②地域保健の未来展望—山彦から海彦の地域保
健—

小林美智子(県立長崎シーボルト大学看護
栄養学部看護学科教授)

③特定保健指導と人材育成
金川 克子(石川県立看護大学教授)

④特定健診・保健指導の実施義務化と地域保健
堤 修三(大阪大学大学院医学系研究科
人間科学研究科教授)

教育講演1 14:00~15:00
[愛媛県県民文化会館第6会議室]

「口腔機能の向上と介護予防—今後の展望」

演者 植田耕一郎(日本大学歯学部摂食機能療
法学講座教授)

座長 宮武 光吉(助産科医療研修振興財団専
務理事)

フォーラム1 15:30~17:30
[愛媛県県民文化会館第6会議室]

「公衆衛生専門職制度について」

座長 中原 俊隆(京都大学大学院医学系研究科
教授)

①公衆衛生専門職制度の検討経過

相澤 好治(北里大学医学部長)

②東京大学の公衆衛生大学院の概要

小林 廉毅(東京大学大学院医学系研究科
公衆衛生学教授)

③管理栄養士の立場から

足立 己幸(名古屋学芸大学大学院教授)

④保健師の立場から

宮内 清子(愛媛県立医療技術大学保健科
学部看護学科教授)

指定発言

岡本 浩二(厚生労働省大臣官房参事官)

フォーラム2 15:30~17:30
[愛媛県県民文化会館別館第11会議室]

「21世紀の公衆衛生研究戦略を考える」

座長 本橋 豊(秋田大学医学部社会環境医学
講座健康増進医学分野教授)

①アスベスト問題に対する反省から

曾根 智史(国立保健医療科学院公衆衛生
政策部長)

②社会格差とこころの健康—21世紀の研究の枠組
み

川上 憲人(東京大学大学院医学系研究科
精神保健学分野教授)

③健康危機管理研究の現状と課題—21世紀の研究
の枠組み

佐甲 隆(三重県立看護大学教授)

④メタボリックシンドローム問題について考える

本橋 豊(秋田大学医学部社会環境医学
講座健康増進医学分野教授)

フォーラム3 18:00~20:00
[愛媛県県民文化会館別館第11会議室]

日本学術会議シンポジウム

「今後の政府統計のあり方とその有効活用」

座長 小林 章雄(愛知医科大学医学部衛生学講
座教授)

座長 小林 廉毅(東京大学大学院医学系研究科
公衆衛生学教授)

①公衆衛生分野における政府統計等の二次利用の有用性と課題

福田 吉治 (国立保健医療科学院疫学情報室長)

②がん統計における政府統計の利用と課題

祖父江友孝 (国立がんセンターがん情報・統計部長)

③政府統計の利用における機構と仕組み

橋本 英樹 (東京大学大学院医学系研究科教授)

④わが国における政府統計の有効活用について：国勢調査コホート事業の提言

笠島 茂 (国立保健医療科学院行政政策室長)

は可能か]

座長 岩永 俊博 (社)地域医療振興協会ヘルスプロモーション研究センター常勤顧問)

座長 山崎喜比古 (東京大学大学院健康社会学教室准教授)

①「協働」の取組みが地域保健活動の本流へ

平吹 隆 (山形県白鷹町元気ニコニコ推進会議会長)

②地域力向上のための縦と横のアプローチ

神馬 征峰 (東京大学大学院医学系研究科国際地域保健学教室教授)

③地域保健の地域力、住民力、行政力を高める活動

辻山 幸宣 (財)地方自治総合研究所長)

フォーラム4 17:30~19:30

[愛媛看護研修センター大研修室]

公衆衛生看護のあり方に関する委員会主催

「保健師教育の臨地実習と卒後教育」

座長 平野かよ子 (国立保健医療科学院公衆衛生看護部長)

座長 大森眞由美 (愛媛県保健福祉部管理局保健福祉課医療対策室技術室長補佐)

①保健師養成所指定規則改正の方向性と求められる臨地実習

村嶋 幸代 (東京大学大学院医学系研究科健康科学・看護学専攻地域看護学分野教授)

②臨地実習の実情と調整の工夫 (本庁の立場)

梶尾 厚子 (岡山県保健福祉部施設指導課総括参事)

③保健師教育における実践能力習得について

後閑 容子 (岐阜大学医学部看護学科地域精神看護学講座教授)

④保健師教育の臨地実習

大場 エミ (全国保健師長会長)

【第2日 平成19年10月25日 (木)】

特別講演2 9:00~10:00

[愛媛県県民文化会館メインホール]

「公衆衛生と地域の再生—日本の再生をめざして—」

演者 尾身 茂 (WHO 西太平洋地域事務局長)

座長 北川 定謙 (財)日本公衆衛生協会理事長)

サテライトシンポジウム1 10:10~12:10

[愛媛県県民文化会館メインホール]

「地域保健の地域力、住民力、行政力を高める活動

教育講演2 10:10~11:10

[愛媛県県民文化会館サブホール]

「アジアにおけるがん予防対策の展望」

演者 田島 和雄 (愛知県がんセンター研究所長)

座長 土井 光徳 (愛媛県松山保健所長)

鼎談 13:30~14:45

[愛媛県県民文化会館メインホール]

「循環器疾患対策の過去・現在・未来、一今後の保健予防活動の具体的な発展を目指して—」

演者 小町 喜男 (筑波大学名誉教授)

演者 鏡森 定信 (富山大学医学部教授)

演者 佐藤 眞一 (大阪府立健康科学センター健康度測定部長)

サテライトシンポジウム2 14:50~16:50

[愛媛県県民文化会館メインホール]

日本医師会認定産業医制度指定研修会

「これからの生活習慣病予防対策」

座長 磯 博康 (大阪大学大学院医学系研究科社会環境医学講座公衆衛生学教授)

①がん対策基本法の中のがん検診

坪野 吉孝 (東北大学大学院法学研究科教授)

②リスクの階層化と循環器疾患予防

斉藤 功 (愛媛大学大学院医学系研究科公衆衛生・健康医学准教授)

③これからの生活習慣病対策

松浦千枝子 (伊予市市民福祉部長)

④企業における生活習慣病対策の取り組み「健康松下21」

阪本 善邦 (松下電器健康保険組合健康松
下21推進室長)

事兼医長)

座長 飯田 稔 (関西福祉科学大学教授)

④「健康危機管理対応を中心とするシミュレーション教材の作成と研修の実施」

演者 荒田 吉彦 (北海道室蘭保健所長)

座長 澁谷いづみ (愛知県半田保健所長)

サテライトシンポジウム3 14:50~16:50

[愛媛県民文化会館サブホール]

「今、保健部門に求められる次世代育成支援・子ども虐待予防—親子の実態を踏まえ、今後の方向性を考える—」

座長 原田 正文 (大阪人間科学大学人間科学部
社会福祉学科教授, 学部長)

座長 西嶋真理子 (愛媛大学大学院医学系研究科
看護学専攻教授)

①今、保健部門に求められる次世代育成支援・子ども虐待予防とは? —子育て実態調査「兵庫レポート」と子育て支援ボランティア活動より—

原田 正文 (大阪人間科学大学人間科学部
社会福祉学科教授, 学部長)

②保健事業に求められる次世代育成支援と虐待予防

福永富美子 (摂津市保健福祉部次長兼健康
推進課長)

③山口県方式のネットワークとその実践

—保健・医療・福祉と県民をつなぐ—

廣岡 逸樹 (山口県精神保健福祉センター
相談指導課長)

④子育てサークルから子育てネットワーク, そして“ひろば”へ

—子育てネットワークの活動を通して—

松崎美穂子 (NPO 法人子育て支援ネット
ワークとくしま理事長)

奨励賞受賞者講演 14:00~16:00

[愛媛県民文化会館第8会議室]

①「社会経済的環境と健康に関する国際比較研究—心理社会的ストレスからの検討—」

演者 関根 道和 (富山大学大学院医学薬学研究
部准教授)

座長 中川 秀昭 (金沢医科大学医学部健康増進
予防医学教授)

②「高齢者による世代間交流型ヘルスプロモーションプログラム“REPRINTS”の開発と評価」

演者 藤原 佳典 (東京都老人総合研究所研究副
部長)

座長 芳賀 博 (桜美林大学教授)

③「自主住民組織を主体とする健康管理活動への支援と展開」

演者 木山 昌彦 (大阪府立健康科学センター参

フォーラム5 17:30~19:30

[愛媛看護研修センター大研修室]

「地域保健における休養・こころの健康づくり」

座長 本橋 豊 (秋田大学医学部社会環境医学
講座健康増進医学分野教授)

座長 大井田 隆 (日本大学医学部社会医学系公
衆衛生学分野教授)

①日本の自殺対策—今後の課題と公衆衛生学会に望まれること

本橋 豊 (秋田大学医学部社会環境医学
講座健康増進医学分野教授)

②これからの休養・睡眠指針のあり方

兼板 佳孝 (日本大学医学部社会医学系公
衆衛生学分野専任講師)

③宮崎県の自殺の現状と対策

岩本 直安 (宮崎県日南保健所長)

④働き盛り世代のうつ自殺予防対策への取り組み

松本 晃明 (静岡県精神保健福祉センター
所長)

⑤管内市町と協働で取り組む「こころの健康づくり」五田 貴子 (北薩地域振興局川薩保健所技術主査)

【第3日 平成19年10月26日(金)】

特別講演3 9:00~10:00

[愛媛県民文化会館メインホール]

「四国遍路における出会いとこころ」

演者 辰濃 和男 (日本エッセイスト・クラブ理
事長)

座長 寺本 辰之 (松山市保健所長)

サテライトシンポジウム4 10:10~12:10

[愛媛県民文化会館メインホール]

「保健所の将来像—医療制度改革と公衆衛生—」

座長 角野 文彦 (滋賀県東近江保健所長)

座長 石本 寛子 (徳島県保健福祉部健康増進課
長)

①医療制度改革の中で求められる保健所の将来像
谷口 栄作 (島根県浜田保健所長)

②医療制度改革と地域保健福祉—大都市保健所か
ら

竹中 章（福岡市博多区保健福祉センター所長・博多保健所所長）

③保健所の将来像—地域医療連携の推進を通じて—

大江 浩（富山県新川厚生センター所長）

④青森県下北圏域における地域連携パスの開発・普及のための取り組み

小川 克弘（むつ総合病院院長）

⑤地域包括ケアの仕組みづくりと生活習慣病予防の取り組み

田上 豊資（高知県中央東福祉保健所所長）

サテライトシンポジウム5 10:10~12:10

〔愛媛県県民文化会館サブホール〕

「糖尿病発症予防と進展予防のネットワークづくり」

座長 清水 一紀（愛媛県立中央病院内科部長）

座長 岸川 秀樹（熊本大学保健センター教授）

①発症・進展予防への観察・介入研究からの提言
野田 光彦（国立国際医療センター臨床検査部長）

②若年者における味覚障害と食習慣

岸川 秀樹（熊本大学保健センター教授）

③海士町の糖尿病対策20年間の取り組みからの提言

武田 倬（鳥取県中央病院院長）

④「私とあなた」の関係から始める糖尿病療養指導のネットワーク

中村 慶子（愛媛大学大学院医学系研究科看護学専攻教授）

フォーラム6 10:40~12:40

〔愛媛県県民文化会館第6会議室〕

日本学術会議企画市民公開シンポジウム

「子どもの環境保健—環境リスクから子どもを守る—」

座長 内山 巖雄（京都大学大学院工学研究科教授）

座長 中堀 豊（徳島大学大学院医科学教育部分子予防医学分野（公衆衛生学）教授）

①バース・コホート研究の現状と課題—

「環境と子どもの健康」北海道スタディを例に

岸 玲子（北海道大学大学院医学研究科教授）

②小児における有害化学物質汚染による健康影響
村田 勝敬（秋田大学医学部環境保健学分野教授）

③小児環境保健に対する環境省の取り組み

長谷川 学（環境省環境保健部環境リスク評価室長補佐）

市民公開フォーラム 13:30~15:30

〔愛媛県県民文化会館サブホール〕

「食育の推進」

座長 逸見 幾代（松山東雲短期大学生生活科学科教授）

座長 藤田 正隆（愛媛県保健福祉部保健福祉課技幹）

①食物アレルギーの子どもと家族を支えよう—家庭・医療・福祉・教育の連携—

小谷 信行（松山赤十字病院小児科部長）

②保育所における食育の取り組み

細川登代子（宇和保育園長）

③地域の教育力を生かした小学校給食での食育の実践の事例—高知県南国市の棚田米の生産体験から米飯給食の5日間実施の取り組み—

針谷 順子（高知大学教育学部教授）

④御食国若狭おばまの食のまちづくり

大熊 武（小浜市役所食のまちづくり課長）

教育ワークショップ1 13:30~16:00

〔愛媛県県民文化会館第6会議室〕

「楽しくてためになる保健指導—生活習慣の改善をめざしたグループ支援・IT活用」

座長 野村美千江（愛媛県立医療技術大学保健科学部看護学教授）

講師 坂根 直樹（京都医療センター臨床研究センター予防医学研究室長）

小路 浩子（大阪府忠岡町保健センター主幹）

教育ワークショップ2 13:30~16:00

〔愛媛県県民文化会館第8会議室〕

「保健従事者のコミュニケーションスキル向上に資する“ケースメソッド的検討手法”」

座長 岸本 益実（広島県備北地域保健所所長）

①ケースメソッド的ファシリテーション

金城 芳秀（沖縄県立看護大学大学院教授）

②保健従事者におけるケースメソッド的検討の実践

荒田 吉彦（北海道室蘭保健所所長）

③ケースメソッド的検討のための「ものさし」を学習する—ヘルスプロモーションのキーワードを落とし込む—

櫃本 真聿 (愛媛大学医学部附属病院医療
福祉支援センター長)

7 公衆衛生行政研修フォーラム

公衆衛生行政研修フォーラム1

10月24日 (水) 15:30~17:30

[愛媛県県民文化会館サブホール]

「新型インフルエンザ, その行政対応とリスクコミュニケーションについて」

座長 岡部 信彦 (国立感染症研究所情報センター長)

①新型インフルエンザ対策ガイドラインとリスクコミュニケーションを中心にして

三宅 智 (厚生労働省結核感染症課長)

②地域が行う積極的疫学調査

安井 良則 (国立感染症研究所感染症情報センター主任研究官)

③新型インフルエンザ対策におけるウィルス診断

奥野 良信 (財大微生物病研究会観音寺研究所理事)

④リスクコミュニケーションの視点から

丸井 英二 (順天堂大学医学部公衆衛生学教授)

公衆衛生行政研修フォーラム2

10月24日 (水) 15:30~17:30

[愛媛県県民文化会館第8会議室]

「健康危機管理の体制と保健所の機能強化」

座長 竹之内直人 (愛媛県西条保健所長)

座長 三木 優子 (愛媛県八幡浜保健所長)

①地域における健康危機管理に備えた救急医療体制の再構築

佐々木隆一郎 (長野県飯田保健所長)

②医療安全対策と保健所機能強化

古屋 好美 (山梨県中北保健所長)

③全国保健所の事件・事故・災害時の PTSD 対策~えひめ丸事故を経験して

竹之内直人 (愛媛県西条保健所長)

④健康危機管理における国と自治体の役割

加地 祥文 (厚生労働省医薬品局食品安全部監視安全課長)

公衆衛生行政研修フォーラム3

10月25日 (木) 17:30~19:30

[愛媛県県民文化会館サブホール]

「地方の保健行政機関 (都道府県・保健所・市町村等) の将来像—健康日本21, ヘルスプロモーションの原点に返り未来を展望する—」

座長 岩室 紳也 (社)地域医療振興協会ヘルスプロモーション研究センター長)

座長 櫃本 真聿 (愛媛大学医学部附属病院医療福祉支援センター長)

①今こそ, ヘルスプロモーションが提唱された背景を考える

藤内 修二 (大分県福祉保健部健康対策課参事)

②健康日本21都道府県, 市町村計画の調査から見てきたこと

福永 一郎 (中間法人保健計画総合研究所長)

③アウトソーシングしていいもの, アウトソーシングしてはいけないもの

中瀬 克己 (岡山市保健所長)

光岡 信子 (岡山市愛育委員協議会副会長)

④住民と行政の協働とは

福原 円 (小山市国保年金課主査)

鈴木 廣明 (『健康都市おやまプラン21』健康推進サポーターの会長)

公衆衛生行政研修フォーラム4

10月25日 (木) 15:40~17:40

[愛媛県県民文化会館第6会議室]

「温泉施設におけるレジオネラ感染予防のための適切な衛生管理手法」

座長 遠藤 卓郎 (国立感染症研究所部長)

①厚生労働省のレジオネラ症対策

永森 一暢 (厚生労働省健康局生活衛生課主査)

②掛け流し式温泉の衛生管理

烏谷 竜哉 (愛媛県今治保健所専門員)

③レジオネラ属菌の管理基準, 感染事例と菌濃度との関連, および分子疫学

倉 文明 (国立感染症研究所主任研究官)

④掛け流し式温泉施設の衛生管理

黒木 俊郎 (神奈川県衛生研究所主任研究員)

⑤レジオネラ汚染の原因究明と衛生管理

山口 誠一 (山形県村山保健所検査主幹)

公衆衛生行政研修フォーラム5

10月26日 (金) 9:30~11:30

[愛媛県県民文化会館別館第11会議室]

「食育推進計画と公衆衛生」

座長 高岡 道雄 (兵庫県健康生活部健康局長)

座長 足立 己幸 (名古屋学芸大学大学院教授)

①全国の食育推進計画の現状と展望

河野 美穂(内閣府食育推進室参事官補佐)

②大阪府食育推進計画の実施・評価・ネットワークづくり—食環境作りを中心に—

佐藤 眞一(大阪府立健康科学センター健康度測定部長)

③松山市食育推進計画の現状と課題—国・県計画の特徴を踏まえて、住民のニーズをどう生かすか—

大西 公子(松山市保健所地域保健課主幹)

④芦北地域(水俣市・芦北町・津名木町)食育パートナーシップ事業の現状と課題：ヘルスプロモーションの視点から

宮北 隆志(熊本学園大学社会福祉学部福祉環境学科教授)

公衆衛生行政研修フォーラム6

10月26日(金) 13:30~15:30

[愛媛県県民文化会館メインホール]

「地域づくりの視点からの介護予防」

座長 宮内 清子(愛媛県立医療技術大学保健科学部看護学科教授)

座長 新開 省二(東京都老人総合研究所研究部長)

①地域づくりの視点からの介護予防

田中 甲子(NPO法人地域保健研究会長)

②稲城市の介護予防の取り組み

石田 光広(稲城市福祉部高齢福祉課長)

③地域高齢者全体を視野に入れた介護予防推進システムとその評価

吉田 裕人(東京都老人総合研究所研究員)

④住み慣れた地域で、生きがいを持って過ごせる地域づくり—役割を持つことが、心を動かし、からだを動かす—

高畑 郁代(佐伯市高齢者福祉課佐伯市中央地域包括支援センター課長補佐兼係長)

⑤保健センターで取り組む介護予防と地域づくり
松本 常美(愛媛県八幡浜市保健福祉総合センター所長)

8 ランチョンセミナー

ランチョンセミナー1

〈提供：バイエル薬品株式会社〉

10月24日(水) 12:00~13:00

[愛媛県県民文化会館第6会議室]

「糖尿病にしないために、糖尿病になったら」

講師 松岡 健平(東京都済生会渋谷診療所)

座長 清水 一紀(愛媛県立中央病院内科部長)

ランチョンセミナー2 〈提供：株式会社スズケン〉

10月24日(水) 12:00~13:00

[愛媛県県民文化会館第8会議室]

「実効性のある保健指導を行うには何が必要か?—ライフスタイルを評価し変容を促すツールの有用性を考える—」

講師 内藤 義彦(武庫川女子大学生生活環境学部食物栄養学科教授)

座長 荒尾 孝(早稲田大学スポーツ科学学術院教授)

ランチョンセミナー3

〈提供：ノバルティスファーマ株式会社〉

10月25日(木) 12:20~13:20

[愛媛県県民文化会館第6会議室]

「保険診療に基づいた実践的禁煙治療のコツ」

講師 松岡 宏(愛媛県立今治病院循環器科部長)

座長 中村 正和(大阪府立健康科学センター健康生活推進部長)

「特定保健指導における禁煙支援の意義と方法」

講師 中村 正和(大阪府立健康科学センター健康生活推進部長)

ランチョンセミナー4

〈提供：日本光電工業株式会社〉

10月25日(木) 12:20~13:20

[愛媛県県民文化会館第8会議室]

「地域・職域における睡眠時無呼吸症候群スクリーニングの重要性」

講師 谷川 武(筑波大学大学院人間総合科学研究科社会環境医学専攻社会健康医学准教授)

座長 下光 輝一(東京医科大学公衆衛生学講座主任教授)

9. 一般演題

一般演題数 1,486件

分科会	分科会名	口演	示説	小計
第1分科会	疫学・保健医療情報	12	42	54
第2分科会	健康教育	27	135	162
第3分科会	ヘルスプロモーション, 健康日本21, QOL	16	101	117
第4分科会	保健所, 衛生行政, 健康危機管理	24	45	69
第5分科会	地域保健・地域医療	24	138	162
第6分科会	難病・障害・医療福祉	10	29	39
第7分科会	成人保健Ⅰ (循環器疾患, 悪性新生物)	17	45	62
第8分科会	成人保健Ⅱ (その他)	9	25	34
第9分科会	親子保健・学校保健	27	128	155
第10分科会	高齢者保健福祉・介護	29	201	230
第11分科会	精神保健福祉	16	60	76
第12分科会	口腔保健	5	20	25
第13分科会	感染症	36	67	103
第14分科会	公衆栄養	9	50	59
第15分科会	食品衛生・薬事衛生	12	18	30
第16分科会	産業保健	7	27	34
第17分科会	環境保健・生活環境衛生	13	22	35
第18分科会	国際保健	5	35	40
合 計		298	1,188	1,486

10. 各プログラム参加人数

10月24日(水) ランチョンセミナーは(弁当ありの人数+聴講のみの人数)				
会場	プログラム	演題等	参加者概数	
愛媛県民文化会館	メインホール	特別講演1	「四国は日本の脈どころ」*	1,600名
	メインホール	学会長講演	「循環器疾患対策」*	1,600名
	メインホール	メインシンポジウム	「地域保健の未来展望」*	1,200名
	サブホール	公衆衛生行政研修フォーラム1	「新型インフルエンザ, その行政対応とリスクコミュニケーションについて」	100名
	第6会議室	ランチョンセミナー1	「糖尿病にしないために, 糖尿病になったら」	180名 (150+30)名
	第6会議室	教育講演1	「口腔機能の向上と介護予防」	140名
	第6会議室	フォーラム1	「公衆衛生専門職制度について」	150名
	第8会議室	ランチョンセミナー2	「実効性のある保健指導を行うには何が必要か?」	200名 (150+50)名
第8会議室	公衆衛生行政研修フォーラム2	「健康危機管理の体制と保健所の機能強化」	100名	
別館	第11会議室	フォーラム2	「21世紀の公衆衛生研究戦略を考える」	220名
	第11会議室	フォーラム3	「今後の政府統計のあり方とその有効活用」	140名
看護研修センター 大研修室	フォーラム4	「保健師教育の臨地実習と卒後教育」	220名	
10月25日(木)				
県民文化会館	メインホール	特別講演2	「公衆衛生と地域の再生」	500名
	メインホール	サテライトシンポジウム1	「地域保健の地域力, 住民力, 行政力を高める活動は可能か」	500名
	メインホール	鼎談	「循環器疾患対策の過去・現在・未来」	1,000名
	メインホール	サテライトシンポジウム2	「これからの生活習慣病予防対策」	1,000名
愛媛県民文化会館	サブホール	教育講演2	「アジアにおけるがん予防対策の展望」	150名
	サブホール	サテライトシンポジウム3	「今, 保健部門に求められる次世代育成支援・子ども虐待予防」	150名
	サブホール	公衆衛生行政研修フォーラム3	「地方の保健行政機関(都道府県・保健所・市町村等)の将来像」	220名
	第1会議室	口演【第8分科会】	「成人保健II(その他)」	55名
	第1会議室	口演【第1分科会】	「疫学・保健医療情報」	60名
	第2会議室	口演【第15分科会】	「食品衛生・薬事衛生」	50名
	第2会議室	口演【第12分科会】	「口腔保健」	60名
	第2会議室	口演【第18分科会】	「国際保健」	30名
	第3会議室	口演【第14分科会】	「公衆栄養」	120名
	第5,7会議室	口演【第13分科会】	「感染症」	100名
	第5,7会議室	口演【第11分科会】	「精神保健福祉」	50名
	第6会議室	口演【第5分科会】	「地域保健・地域医療」	60名
	第6会議室	ランチョンセミナー3	「保険診療に基づいた実践的禁煙治療のコツ」 「特定保健指導における禁煙支援の意義と方法」	210名 (180+30)名
	第6会議室	公衆衛生行政研修フォーラム4	「温泉施設におけるレジオネラ感染予防のための適切な衛生管理手法」*	200名
	第8会議室	口演【第7分科会】	「成人保健I(循環器疾患・悪性新生物)」	180名
	第8会議室	ランチョンセミナー4	「地域・職域における睡眠時無呼吸症候群スクリーニングの重要性」	160名 (150+10)名
	第8会議室	奨励賞受賞者講演		100名
	別館	第11会議室	口演【第10分科会】午前	「高齢者保健福祉・介護」
第11会議室		口演【第10分科会】午後	「高齢者保健福祉・介護」	120名
第13会議室		口演【第2分科会】午前	「健康教育」	100名
第13会議室		口演【第2分科会】午後	「健康教育」	45名
看護研修センター 大研修室	大研修室	口演【第9分科会】午前	「親子保健・学校保健」	70名
	大研修室	口演【第9分科会】午後	「親子保健・学校保健」	50名
	大研修室	フォーラム5	「地域保健における休養・こころの健康づくり」	160名
	訪問看護研修室	口演【第4分科会】午前	「保健所, 衛生行政, 健康危機管理」	35名
訪問看護研修室	口演【第4分科会】午後	「保健所, 衛生行政, 健康危機管理」	30名	
10月26日(金)				
県民文化会館	メインホール	特別講演3	「四国遍路における出会いとところ」*	410名
	メインホール	サテライトシンポジウム4	「保健所の将来像」	350名
	メインホール	公衆衛生行政研修フォーラム6	「地域づくりの視点からの介護予防」*	560名
	サブホール	サテライトシンポジウム5	「糖尿病発症予防と進展予防のネットワークづくり」*	500名
	サブホール	市民公開フォーラム	「食育の推進」*	210名
	第1会議室	口演【第6分科会】	「難病・障害・医療福祉」	70名
	第1会議室	口演【第16分科会】	「産業保健」	70名
	第2会議室	口演【第17分科会】	「環境保健・生活環境衛生」	40名
	第5,7会議室	口演【第13分科会】	「感染症」	60名
	第6会議室	口演【第5分科会】	「地域保健・地域医療」	45名
	第6会議室	フォーラム6	「子どもの環境保健」*	60名
	第6会議室	教育ワークショップ1	「楽しくてためになる保健指導」	64名
第8会議室	口演【第3分科会】	「ヘルスプロモーション・健康日本21・QOL」	50名	
第8会議室	教育ワークショップ2	「保健従事者のコミュニケーションスキル向上に資する“ケースメソッド的検討手法”」	77名	
別館	第11会議室	公衆衛生行政研修フォーラム5	「食育推進計画と公衆衛生」*	95名

*は一般公開プログラムのため, 参加者数には一般来場者を含む。

11. 自由集会

集 会 名	会 場	参加者数
10月24日（水）18：00～20：00		
1 「健康づくりと運動」自由集会	県民文化会館第1会議室	72名
2 健康生成論とストレス対処能力概念 SOC の学習・交流会	県民文化会館第2会議室	40名
3 知ろう・語ろう・考えよう！“一歩先行く”健やか親子21 第7回～「セレクト2006」でみる地域母子保健事業～	県民文化会館第3会議室	36名
4 第16回多胎児を産み育てる家庭への保健サービスのあり方を考える集会	県民文化会館第5,7会議室	70名
5 結核集団発生の対策に関する集会	県民文化会館第6会議室	153名
6 全国いきいき公衆衛生の会	県民文化会館第8会議室	135名
7 歯科保健の現状と未来展望	別館第12会議室	46名
8 自殺は予防できる	別館第13会議室	50名
9 全国衛生行政研究会総会・セミナー	別館第14会議室	30名
10 喘息 喘息・アレルギーと居住環境との関係について	別館第15会議室	5名
11 健康危機管理に関わる管理栄養士の活動について	福祉会館研修室	25名
12 セカンド医師に関する技術集会	福祉会館視聴覚室	20名
13 第一回法医公衆衛生学研究会 —絶対的アウトカムである「死」から学ぶ	福祉会館第2会議室	30名
10月25日（木）18：00～20：00（30のみ17：30～19：30）		
14 喫煙対策自由集会	県民文化会館第1会議室	27名
15 第10回レセプト情報の活用を考える自由集会	県民文化会館第2会議室	50名
16 介護予防における多職種協業のあり方	県民文化会館第3会議室	14名
17 ジョン・スノウの会	県民文化会館第5会議室	30名
18 「市民型社会」の公衆衛生活動	県民文化会館第7会議室	40名
19 THE HOKENSHI～改革の時代だからこそ原点を大事に～	県民文化会館第6会議室	80名
20 介護予防に関する先駆的取組について	県民文化会館第8会議室	96名
21 GIS（地理情報システム）の公衆衛生における活用 ～Health GISの効果的活用方策を考える～	別館第11会議室	45名
22 「住まいと健康」フォーラム	別館第12会議室	16名
23 地域保健における同性愛者理解 ～エイズ予防啓発での同性間対策の実例から～	別館第13会議室	40名
24 前向き子育てプログラム（トリプルP）の理論と実践	別館第14会議室	20名
25 これからの地域保健活動を語ろう	別館第15会議室	23名
26 「データを駆使する次世代保健指導者」 —今までとは違う特定保健指導—	総合福祉会館研修室	50名
27 保健所での HIV 抗体検査事業のありかたを考える ～ターゲット層を意識した効果的な検査相談提供のために～	総合福祉会館視聴覚室	33名
28 第8回栄養士による栄養士のための栄養情報 NET 勉強会 「健康情報捏造番組は何かおかしいか—疫学者の視点から— （国立がんセンター・山本精一郎）および関連疫学論文紹介	総合福祉会館第1会議室	24名
29 ヘルスプロモーションの評価 —実用重視評価とエンパワメント評価の理論と応用—	総合福祉会館第2会議室	15名
30 へき地における看護を考える	看護研修センター 訪問看護研修室	80名
31 特定検診をどう受け止めてどうしていくのか	別館第16会議室	22名
10月26日（金）13：30～16：00		
32 厚生労働科学研究班によるサテライト緊急集会 新潟県中越沖地震の経験を健康危機管理に生かす	別館第11会議室	80名

12. ブース

今回の総会では、紹介ブース27団体、企業展示コーナーに33団体の出展があった。また、ドリンク無料提供コーナーも、多数の来場者で、大変盛況であった。

紹介ブース（一般）

番号	ブ ー ス 名
1	国立保健医療科学院
2	愛媛大学大学院医学系研究科
3	NPO 法人日本介助犬アカデミー
4	結核研究所
5	地域医療振興協会 ヘルスプロモーション研究センター
6	東京大学大学院（医学系研究科公共健康医学専攻）
7	(財)健康・体力づくり事業財団
8	株式会社プリメドジャパン
9	山梨大学大学院医学工学総合研究部社会医学講座
10	京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻
11	「健康日本21」疫学指標の開発と評価の研究班
12	埼玉県立大学保健医療福祉学部健康開発学科
13	東京大学大学院医学系研究科健康科学・看護学専攻地域看護学分野
14	国立環境研究所疫学調査オフィス
15	全国保健師教育機関協議会
16	札幌医科大学「健やか北海道プロジェクト」
17	NPO 法人日本むし歯予防フッ素推進会議
18	多胎育サポートネットワーク 多胎育児支援地域ネットワーク構築事業
19	地域がん登録全国協議会
20	前向き子育てプログラム
21	日本疫学会
22	(財)放射線影響研究所疫学部

紹介ブース（地方計画ブース）

番号	ブ ー ス 名
1	在宅人工呼吸器装着患者への災害時支援体制整備
2	健康おちか21～みんな達者、みんな笑顔、離れたくない町おちか～
3	岩国市母子保健推進協議会
4	「節度ある適度な飲酒」とは
5	福島県喜多方市（太極拳体操を活用した介護予防の取り組み）

企業展示コーナー

番号	企 業 名
1	株式会社VIPグローバル
2	ジョンソン・エンド・ジョンソン(株)
3	株式会社サンキ
4	(株)ニチレイバイオサイエンス
5	(株)日本ビーシージーサプライ
6	東洋羽毛販売株式会社
7	松下電工株式会社電気新事業開発センター
8	日本医学株式会社
9	大正製薬株式会社
10	ブジ・レスピロニクス株式会社
11	キョーリン製薬株式会社
12	SAS Institute Japan 株式会社
13	花王株式会社
14	旭化成株式会社
15	パナソニック四国エレクトロニクス株式会社
16	日本ライトサービス株式会社
17	オムロンソフトウェア株式会社
18	日本光電工業株式会社
19	株式会社NTT データ
20	NTT アイティ
21	シーメンスメディカルソリューションズ・ダイアグノスティクス(株)
22	(株)スズケン
23	(株)健康日本総合研究所
24	伊那食品工業株式会社
25	株式会社グローバルヘルス
26	株式会社タニタ
27	いわさきグループ株式会社いわさき
28	社団法人日本家族計画協会
29	株式会社ニホン・ミック
30	(株)東京法規出版
31	株式会社保健同人社
32	株式会社メルシー
33	ノバルティスファーマ株式会社

ドリンク提供企業展示

番号	企 業 名
1	四国コカ・コーラボトリング株式会社
2	グリコ乳業株式会社
3	松山ヤクルト販売株式会社
4	愛媛県厚生農業協同組合連合会
5	ユーシーシーフーズ株式会社松山支店
6	株式会社えひめ飲料
7	大塚薬品株式会社

第66回日本公衆衛生学会総会関連・付随行事の日程

行 事 名	日 程		会 場
	月 日	時 間	
【関連行事】			
日本公衆衛生学会理事会	10月23日 (火)	10:00~12:00	愛媛県県民文化会館第5会議室
日本公衆衛生学会評議員会	10月23日 (火)	13:00~14:30	愛媛県県民文化会館第6会議室
日本公衆衛生雑誌拡大編集委員会	10月24日 (水)	12:00~13:00	愛媛県県民文化会館別館第11会議室
自由集会	10月24日 (水)		愛媛県県民文化会館及び別館・愛媛看護 研修センター・愛媛県総合社会福祉会館
自由集会	10月25日 (木)	18:00~20:00	
【付随行事】			
衛生学公衆衛生学教育協議会	10月23日 (火)	15:00~18:00	愛媛県県民文化会館第6会議室
全国衛生部長会議			松山全日空ホテル
世話人会	10月23日 (火)	11:00~13:00	本館4階「ガーネットルームⅠ」
総会	10月23日 (火)	13:00~17:00	本館4階「ダイヤモンドボールルーム」
情報交換会	10月23日 (火)	17:00~19:00	〃
全国政令市衛生部局長会総会	10月22日 (月)	14:00~16:00	松山全日空ホテル本館4階「ルビールーム」
全国保健所長会60周年記念及び 第64回総会			メルパルク松山
講演	10月23日 (火)	11:00~12:00	別館3階「鳳凰・瑞雲の間」
第64回総会	10月23日 (火)	12:55~14:05	〃
記念シンポジウム	10月23日 (火)	14:25~16:25	〃
記念講演会	10月24日 (火)	16:30~18:00	〃
意見交換会	10月24日 (火)	18:10~19:40	本館1階「松竹の間」
全国保健所長会政令市部会総会	10月22日 (月)	10:00~12:00	松山全日空ホテル本館4階「ツビールーム」
地方衛生研究所全国協議会			松山全日空ホテル
総会	10月23日 (火)	13:30~16:30	南館2階「サファイアルーム」
情報交換会	10月23日 (火)	17:00~19:00	本館4階「ダイヤモンドボールルーム」
全国精神保健福祉センター長会 同研究協議会			リジェール松山
理事会	10月22日 (月)	11:00~12:00	8階「鶴亀の間」
センター長会議	10月22日 (月)	13:00~14:45	7階「ゴールドホール」
研究協議会	10月22日 (月)	14:55~17:00	8階「クリスタルホール」
情報交換会	10月22日 (月)	18:00~19:30	7階「ゴールドホール」
研究協議会	10月23日 (火)	8:50~16:00	8階「クリスタルホール」
全国保健統計協議会			松山全日空ホテル
役員会	10月23日 (火)	11:30~12:30	本館4階「ガーネットルームⅡ」
総会	10月23日 (火)	13:30~16:00	本館4階「ルビールーム」
全国保健師教育機関協議会			にぎたつ会館
理事会	10月22日 (月)	15:00~18:00	3階「椿」
施設管理者部会	10月23日 (火)	13:00~14:30	2階「楓」
教育担当者部会	10月23日 (火)	13:00~14:30	1階「芙蓉」
総会	10月23日 (火)	15:00~17:30	1階「芙蓉」
情報交換会	10月23日 (火)	17:45~20:00	2階「楓」

第66回 日本公衆衛生学会 ～参加者アンケート調査（喫煙）集計結果～

1) 性別・年齢階級別にみた喫煙状況

男性 喫煙状況	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	不明	合計
以前からほとんど吸わない	35 72.9%	63 70.0%	125 68.3%	94 56.6%	22 45.8%	7 53.8%	3 75.0%	349 63.2%
以前は吸っていたが今は吸わない	5 10.4%	20 22.2%	47 37.6%	60 36.1%	22 45.8%	5 38.5%	1 25.0%	160 29.0%
現在喫煙している	7 14.6%	7 7.8%	11 6.0%	7 4.2%	3 6.3%	1 7.7%	0 0.0%	36 6.5%
不 明	1 2.1%	0 0.0%	0 0.0%	5 3.0%	1 2.1%	0 0.0%	0 0.0%	7 1.3%
合 計	48 100.0%	90 100.0%	183 100.0%	166 100.0%	48 100.0%	13 100.0%	4 100.0%	552 100.0%

女性 喫煙状況	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	不明	合計
以前からほとんど吸わない	145 92.9%	232 92.4%	262 93.6%	146 94.8%	30 93.8%	3 100.0%	5 71.4%	823 93.2%
以前は吸っていたが今は吸わない	8 5.5%	14 5.6%	13 4.6%	8 5.2%	1 3.1%	0 0.0%	1 14.3%	45 5.1%
現在喫煙している	1 0.6%	4 1.6%	3 1.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	8 0.9%
不 明	2 1.3%	1 0.4%	2 0.7%	0 0.0%	1 3.1%	0 0.0%	1 14.3%	7 0.8%
合 計	156 100.0%	251 100.0%	280 100.0%	154 100.0%	32 100.0%	3 100.0%	7 100.0%	883 100.0%

2) 性別・年齢階級別にみた1日平均喫煙本数

男 性	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	不明	合計
1～5本	3 6.3%	1 1.1%	4 2.2%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	8 1.4%
6～10本	3 6.3%	3 3.3%	8 4.4%	8 4.8%	4 8.3%	1 7.7%	0 0.0%	27 4.9%
11～15本	2 4.2%	1 1.1%	1 0.5%	2 1.2%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	6 1.1%
16～20本	3 6.3%	7 7.8%	15 8.2%	26 15.7%	11 22.9%	2 15.4%	1 25.0%	65 11.8%
21～25本	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 1.2%	1 2.1%	0 0.0%	0 0.0%	3 0.5%
26～30本	0 0.0%	1 1.1%	3 1.6%	5 3.0%	1 2.1%	0 0.0%	0 0.0%	10 1.8%
31～35本	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
36～40本	0 0.0%	0 0.0%	1 0.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.2%
41本以上	0 0.0%	0 0.0%	1 0.5%	1 0.6%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 0.4%
不 明	37 77.1%	77 85.6%	150 82.0%	122 73.5%	31 64.6%	10 76.9%	3 75.0%	430 77.9%
合 計	48 100.0%	90 100.0%	183 100.0%	166 100.0%	48 100.0%	13 100.0%	4 100.0%	552 100.0%
女 性	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	不明	合計
1～5本	0 0.0%	3 1.2%	0 0.0%	1 0.6%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 0.5%
6～10本	2 1.3%	0 0.0%	4 1.4%	1 0.6%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	7 0.8%
11～15本	0 0.0%	1 0.4%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.1%
16～20本	0 0.0%	3 1.2%	2 0.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	5 0.6%
21～25本	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
26～30本	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
31～35本	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
36～40本	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
41本以上	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
不 明	154 98.7%	244 97.2%	274 97.9%	152 98.7%	32 100.0%	3 100.0%	7 100.0%	866 98.1%
合 計	156 100.0%	251 100.0%	280 100.0%	154 100.0%	32 100.0%	3 100.0%	7 100.0%	883 100.0%

3) 性別・年齢階級別にみた喫煙歴

男性 喫煙歴	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	不明	合計
1～5年	2 4.2%	1 1.1%	8 4.4%	6 3.6%	1 2.1%	0 0.0%	0 0.0%	18 3.3%
6～10年	8 16.7%	6 6.7%	8 4.4%	12 7.2%	5 10.4%	0 0.0%	1 25.0%	40 7.2%
11～15年	0 0.0%	1 1.1%	4 2.2%	5 3.0%	1 2.1%	1 7.7%	0 0.0%	12 2.2%
16～20年	0 0.0%	3 3.3%	8 4.4%	6 3.6%	3 6.3%	0 0.0%	0 0.0%	20 3.6%
21～25年	0 0.0%	0 0.0%	4 2.2%	5 3.0%	2 4.2%	1 7.7%	0 0.0%	12 2.2%
26～30年	1 2.1%	0 0.0%	0 0.0%	7 4.2%	1 2.1%	0 0.0%	0 0.0%	9 1.6%
31年以上	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	5 3.0%	4 8.3%	1 7.7%	0 0.0%	10 1.8%
不 明	37 77.1%	79 87.8%	151 82.5%	120 72.3%	31 64.6%	10 76.9%	3 75.0%	431 78.1%
合 計	48 100.0%	90 100.0%	183 100.0%	166 100.0%	48 100.0%	13 100.0%	4 100.0%	552 100.0%
女性 喫煙歴	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	不明	合計
1～5年	2 1.3%	2 0.8%	0 0.0%	1 0.6%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	5 0.6%
6～10年	0 0.0%	3 1.2%	1 0.4%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 0.5%
11～15年	0 0.0%	0 0.0%	1 0.4%	1 0.6%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 0.2%
16～20年	0 0.0%	2 0.8%	1 0.4%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 0.3%
21～25年	0 0.0%	0 0.0%	2 0.7%	1 0.6%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 0.3%
26～30年	0 0.0%	0 0.0%	1 0.4%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.1%
31年以上	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
不 明	154 98.7%	244 97.2%	274 97.9%	151 98.1%	32 100.0%	3 100.0%	7 100.0%	865 98.0%
合 計	156 100.0%	251 100.0%	280 100.0%	154 100.0%	32 100.0%	3 100.0%	7 100.0%	883 100.0%

第66回日本公衆衛生学会総会収支決算書

【収 入】

(単位：円)

科 目	決算額	内 訳
1 負担金等収入	12,533,000	
都道府県市分担金	4,833,000	46都道府県, 15政令市 (定額)
公衆衛生学会負担金	3,000,000	日本公衆衛生学会負担金 (定額)
開催地負担金	4,500,000	愛媛県3,000千円 松山市1,500千円
前年度開催地繰越金	200,000	前年度開催地 (富山県) 負担金 (定額)
2 抄録集売上収入	21,503,500	
	13,442,000	抄録集予約売上@6,500円×2,068部
	627,500	同送料 @ 500円×1,255部
	7,434,000	抄録集当日売上@7,000円×1,062部
3 演題申込金収入	4,458,000	演題申込金収入@3,000円×1,486題
4 諸 収 入	10,937,744	
助成金収入	1,500,000	助成金 1 件
寄付金収入	335,000	寄付金12件
広告収入	2,446,500	広告 50件
ブース展示収入	5,827,500	企業展示@157,500円×37件
	500,000	一般展示@ 20,000円×25件
雑 収 入	328,744	雑収入 (バック売上・教育ワークショップ参加料・物産販売手数料)
合 計	49,432,244	

【支 出】

(単位：円)

科 目	決算額	内 訳
1 準 備 費	33,475,980	
共 済 費	110,187	
賃 金	931,480	臨時職員雇用費 (4月～10月) 大学 1 人
旅 費	750,270	事前打ち合わせ等
需 用 費	445,749	事務用品, 印刷費, 食料費等
役 務 費	1,981,235	通信運搬費, 広告料
使用料及び賃借料	99,792	実行委員会・部会開催費
委 託 料	29,035,117	学会総会運営業務委託, 抄録の作成
	122,150	託児サービスに係る委託料
備品整備費	0	
2 総会 (運営) 費	9,858,328	
報 償 費	2,540,000	講演者等謝礼金
旅 費	2,458,457	講演者等旅費
需 用 費	676,448	事務用品, 印刷費, 食料費等
役 務 費	34,825	通信運搬費, 振込み手数料
使用料及び賃借料	4,148,598	会場借上げ料, 施設機材等
3 事後処理費	1,396,276	
共 済 費	83,880	
賃 金	758,220	臨時職員雇用費 (11月～3月) 大学 1 人, 行政11月のみ 1 人
旅 費	258,244	事務引継等
需 用 費	13,545	事務用品
役 務 費	115,297	郵送料・振込手数料
使用料及び賃借料	167,090	実行委員会開催経費
4 次回開催地繰越金	0	
5 返 還 金	4,701,660	
合 計	49,432,244	